

令和元年度  
第1回香美市まちづくり委員会会議録要旨

日 時 : 令和元年 8 月 22 日 (木) 午後 7 時～午後 9 時  
場 所 : 香美市役所 3 階会議室 301・302  
出席者 : まちづくり委員 22 名  
          市長、企画財政課長、企画調整班 3 名  
欠席者 : 3 名  
会 長 : 山崎眞幹委員  
副会長 : 中村健委員

- ・市長挨拶
- ・委嘱状の交付
- ・自己紹介
- ・会長・副会長の選任

会長は山崎眞幹委員、副会長は中村健委員（以上、事務局案）で承認を得る。

【協議内容】

- 1.香美市まちづくり委員会について（設置の経緯と役割）
- 2.第3期まちづくり委員会の取り組みについて
  - ・事務局から資料 1 を使用してまちづくり委員会の設置の経緯、これまでの経過や役割について説明する。
  - ・引き続き、取り組み予定について説明する。

(質疑応答)

- ・これまで良い提言をしてきているが、提言しっぱなしで具現化するのはどこの役目になるのか。3期目に入って、そろそろやり始めることになるのか。  
→各担当課に進捗状況を説明してもらおう予定である。
- ・まちづくり委員会は提言するだけで、具体的に行うのは市の担当課ということか。  
→市が提言に基づいて実行していくが、今後は提言だけではまちづくりは進まないの、協働をどのように行っていくかということに視点を置いてやっていきたい。
  
- ・香北・物部の公募委員がいなくて人数に隔たりがあるが、本当にこれで香美市全体の協働のまちづくりができるのか。運営の仕方、できるだけ香北・物部の意見をくみ上げるようなことを考えてほしい。  
→香北・物部の自治会の連合会から推薦して出席していただいているので、その意見を集約したものは反映できると思われる。

- ・会議体は全体会が2ヶ月に1回で、別に部会が開かれるということか。
- 会議体自体は基本的に全体会で、2ヶ月に1回のペースで行う予定。状況によって、部会で協議する場合もある。

これまで、テーマによって部会に分かれて協議をした方が意見が出やすかった経緯があり、部会で話し合ったことを、会の最後に全体会で意見を共有するという方法が良い場合もあるので、参考までに希望する分野についてのアンケートを取らせていただき、どのような形態で協議するかは、今後皆さんで検討していただく。

(取り組み内容などについて委員からの意見)

- ・今まで出ている提言の中でも、実際に行動に移せるような具体的なことについて話し合うのが良いのでは。
- ・提言するだけではなく、自分がどのように関わっていくことができるか、地域の方や行政などいろんな方との距離をどのように縮めていけば良いのかなど、協働をどのようにやっていくのかということを話し合っていければ。
- ・「コト」についてまちの楽しさを作り出し、周りに伝えて、地域が活性化していくようなことを自分も楽しみながら皆さんと考えていければ。
- ・窓口を広げてしまうと何をやっているのかわからなくなるので、専門部会でも全体会でもテーマをしぼりながらやっていくべき。
- ・専門部会を開いて、そこで意見を出していきたい。
- ・自分達ではどのように話し合っていけば良いのかわからないので、市が問題提起してほしい。
- ・前回と同様に部会に分かれて話し合うのが良い。テーマについてこの委員会で話し合うだけではなく、それぞれの地域や職場でも聞いてみて、その意見などをこの場で発言してもらったら参考になるのではないか。
- ・まず振興計画の提言の検証を行い、それを踏まえて弱いところを補強したり、人口減少の中でインフラ整備をどう考えるかなどの絞りたい。
- ・スケジュールを決めて結果が見えるようにすることが重要で、それが決まれば2ヶ月に1回で良いのか、全体会か部会が良いのかが見えてくるのでは。
- ・自分達の住んでいるまちをどうすれば良いまちにしていけるのかということ、これまでは行政主導でやってきたが、それだけではすでに行き詰っているの、市民が行政と一緒にやっていかなければならない。これまでに行った提言について、行政や自分達がどこまでやったら実現できるのかということをチェックして、話し合っていくことが協働のまちづくりではないか。
- ・提言するだけではなく、実現できるようなまちづくり委員会にしたい。
- ・2年間のタイムスケジュールを作り、それに沿って会議を進めていくべき。
- ・振興計画に関することはテーマが広すぎて効率が悪かったし、話がなかなか進まなかったが、テーマが人口減少問題に絞られただけでずいぶん部会の話し合いが進んだ。スポット的な狭いテーマだといろんな意見が交わせるので、市から具体的な問題を挙げてもらって、それに対して民意を反映させるのが良いのでは。

(次回の協議内容等)

- これまでに行った提言の進捗状況についてメインに行う。
- 「まちづくり」について整理したものを示す。
- 会長、副会長、事務局で今後の進め方やテーマなどについて案を示すので、それについて協議していく。
- 資料は会議の事前を送付する。